YAMAHA

J

CD-N500

ネットワーク CD プレーヤー

Made for iPod iPhone iPad

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」（36 ～ 39 ページ）を必ずお読みください。

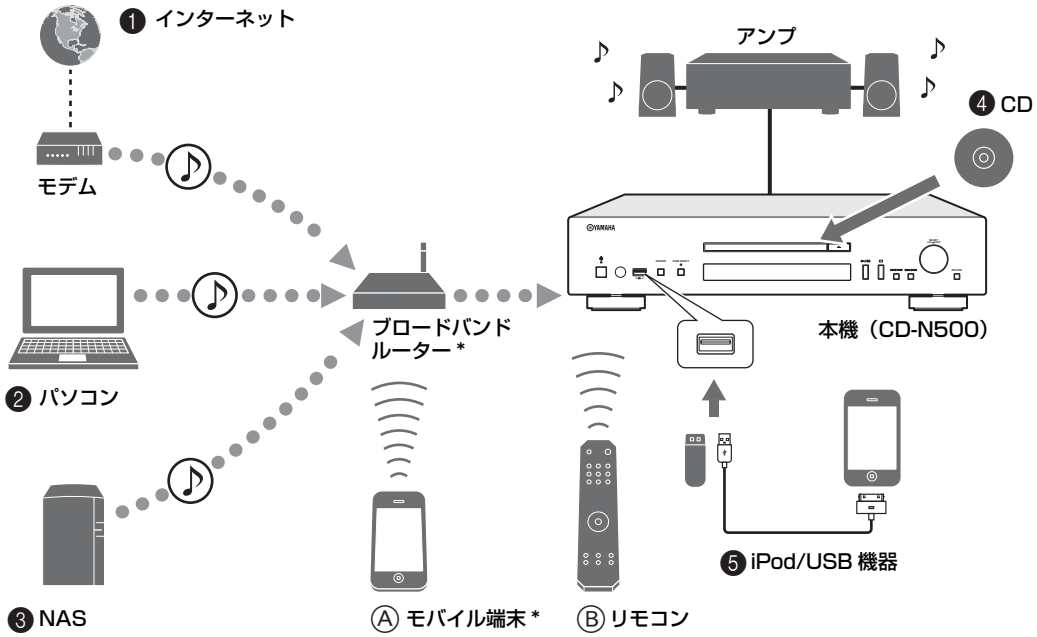
保証書別添付

取扱説明書

本機でできること

本機は、ホームネットワーク（DLNA）およびオーディオシステムと組み合わせて、同一ネットワーク内のメディアサーバー（パソコン、NAS）に保存した曲や、インターネットの音声コンテンツ、CD、iPod、USB 機器を再生するネットワーク CD プレーヤーです。

DLNA や NAS について詳しくは、「補足情報」（☞30 ページ）をご覧ください。



* モバイル端末を使う際は、無線ブロードバンドルーターが必要です。

▮ 本機で再生できるソース

❶ インターネットの音声コンテンツの再生（☞16 ページ）

❷ パソコン内の音楽ファイルの再生（☞11、14 ページ）

❸ NAS 内の音楽ファイルの再生（☞11、14 ページ）

❹ CD の再生（☞18 ページ）

❺ iPod/USB 機器の再生（☞20 ページ）

各機器の接続方法について詳しくは、「接続」（☞9 ページ）をご覧ください。

▮ 本機を操作できる機器

Ⓐ モバイル端末から操作（☞11、13 ページ）

Ⓑ リモコンから操作（☞6、14、16、18、20、22、23 ページ）

よくあるご質問

設定はどうすればいいの？

→ パソコンや NAS、モバイル端末の設定については、「パソコン /NAS/ モバイル端末の設定」をご覧ください。（☞11 ページ）
→ 本機の設定メニューについては、「設定メニュー」をご覧ください。（☞23 ページ）

どうしてパソコン内の音楽ファイルが見つからないの？

→ パソコンやメディアサーバー（Windows Media Player 12 など）の共有設定をご確認ください。（☞11 ページ）
→ 再生できる音楽ファイルをご確認ください。（☞31 ページ）

iPhone で本機を操作できますか？

→ モバイル端末から本機を操作するには、「モバイル端末で操作する」をご覧ください。（☞13 ページ）

モバイル端末にインストールした専用アプリケーションで、本機を検出できない。

→ ブロードバンド経由で、同じネットワーク上に本機が正しく接続されているかご確認ください。
→ MAC アドレスフィルター機能によって、本機へのアクセスが制限されていないかご確認ください。（☞27 ページ）

再生可能な音楽ファイルは？

→ 再生可能なファイルやフォーマットについては、「再生できるファイルフォーマット / ディスク」をご覧ください。（☞31 ページ）

インターネットラジオを再生するには？

→ 再生方法については、「インターネットの音声コンテンツの再生」をご覧ください。（☞16 ページ）

iPod や USB 機器を再生するには？

→ 再生方法については、「iPod/USB 機器の再生」をご覧ください。（☞20 ページ）

フロントパネルディスプレイに表示されるメッセージの意味は？

→ メッセージについては、「フロントパネルディスプレイの表示メッセージ」をご覧ください。（☞29 ページ）

本機の最新情報については、ヤマハのウェブサイトをご覧ください。

目次

準備

本機でできること 1
よくあるご質問 2
付属品 4
リモコンの準備 4
各部の名称と機能 5
- フロントパネル 5
- リモコン 6
- リアパネル 8

接続 9
- アンプに接続する 9
- ネットワークに接続する（パソコン /NAS/ インターネットの接続） 10
- 本機の電源を入れる 10

操作

パソコン /NAS/ モバイル端末の設定 11
- パソコン内の音楽ファイルを共有する 12
- モバイル端末で操作する 13

パソコン /NAS の音楽ファイルの再生 14
- 本体やリモコンで操作する 14

インターネットの音声コンテンツの再生 16
- インターネットラジオを聴く 16

CD の再生 18
- CD を再生する 18
- プログラム再生をする 19

iPod/USB 機器の再生 20
- iPod や USB 機器を接続する 20
- iPod を再生する 20
- 拡張モードで iPod を再生する 21
- USB 機器を再生する 22

設定メニュー 23
- 設定を変更する 23
- 設定メニュー一覧 24
- 拡張設定メニュー一覧 25

その他

故障かな？と思ったら 26
- フロントパネルディスプレイの表示メッセージ 29

補足情報 30

再生できるファイルフォーマット / ディスク 31
- 再生できるメディアと機器 31
- 再生できるディスクとファイル形式 32

主な仕様 33
- ソフトウェアに関する情報 34

安全上のご注意 36

本書について

- 「ご注意」は、本機を操作する際の注意事項を記載しています。☼ は、知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本文中の iPod という表記は iPhone/iPad も含みます。

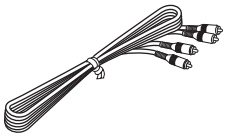
付属品

ご使用になる前に、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

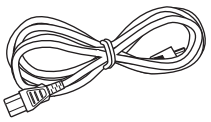
リモコン



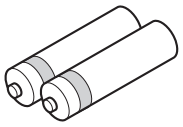
ステレオピンケーブル



電源コード



単３乾電池
（２本）

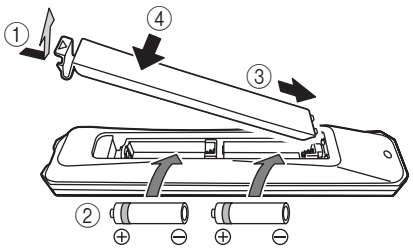


取扱説明書



リモコンの準備

▮ 乾電池を入れる

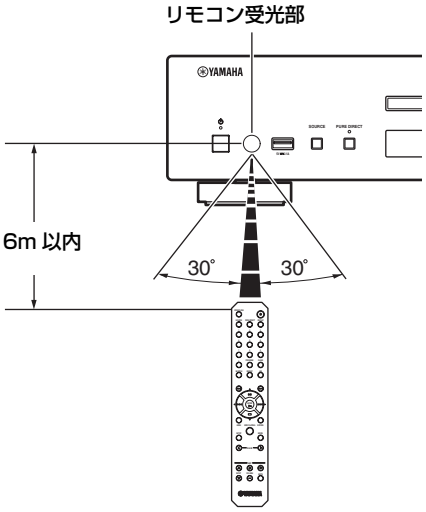


ご注意

・リモコンで操作可能な範囲が極端に短くなりましたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。
・新しい乾電池と交換する場合は、電池ケース内のほこりをふき取ってください。

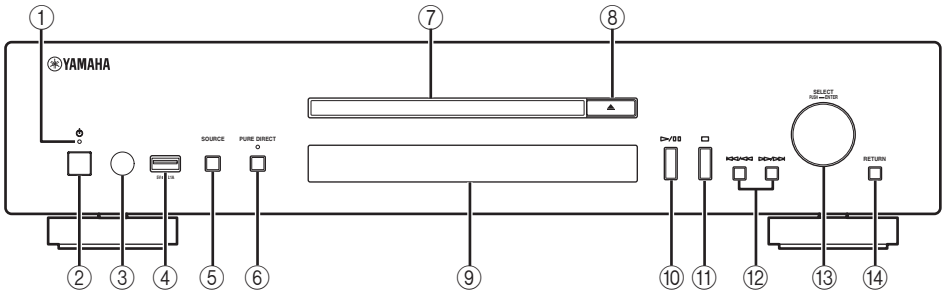
▮ 操作範囲

リモコンは必ず本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



各部の名称と機能

フロントパネル



① 電源インジケーター

- **点灯：**
  リモコンやモバイル端末で本機をオンやスタンバイモードに切り替える事ができる状態（ネットワークスタンバイがオンのとき）、または電源がオンのとき。
- **暗い点灯：**
  リモコンで本機をオンにできる状態（ネットワークスタンバイがオフのとき）。
- **消灯：**
  本機がオフのときで、本体フロントパネルの電源スイッチのみで本機をオンにできる状態。

ヒント
本機の設定メニューで、ネットワークスタンバイモードをオンまたはオフに設定できます。（☞24 ページ）

② 電源スイッチ（☞10 ページ）

本機の電源（オン / オフ）を切り替えます。

▯: オン　▯: オフ

③ リモコン信号受光部（☞4 ページ）

リモコン信号を受信します。

④ USB 端子（☞20 ページ）

iPod または USB 機器を接続します。

⑤ SOURCE（ソース）ボタン（☞14、16、18、20、22 ページ）

音声ソースの種類を選びます。押すたびに、以下のように音声ソースが切り替わります。
CD → USB → SERVER → NET RADIO → CD に戻る

⑥ PURE DIRECT（ピュア ダイレクト）スイッチ

PURE DIRECT モードをオンまたはオフに切り替えます。PURE DIRECT スイッチをオンにすると、高音質な再生が楽しめます。

ヒント
PURE DIRECT モードがオンのとき、PURE DIRECT インジケーターが点灯します。

⑦ ディスクトレイ

ディスクをセットします。

⑧ ⏏（開閉）ボタン

ディスクトレイを開閉します。

⑨ フロントパネルディスプレイ

メニュー項目や再生情報などを表示します。

ヒント
表示されるメッセージについて詳しくは、「フロントパネルディスプレイの表示メッセージ」（☞29 ページ）をご覧ください。

⑩ ▷/▯▯（再生 / 一時停止）ボタン

再生を開始したり、一時停止したりします。

⑪ □（停止）ボタン

再生を停止します。

⑫ ⏮/◁◁（頭出し / 早戻し）ボタン
▷▷/⏭（頭出し / 早送り）ボタン

現在再生中のトラックの先頭か、前のトラックの先頭へ頭出し、または次のトラックの先頭への頭出しや、早戻し／早送りを行います。
音声ソースの種類によって操作は異なります。

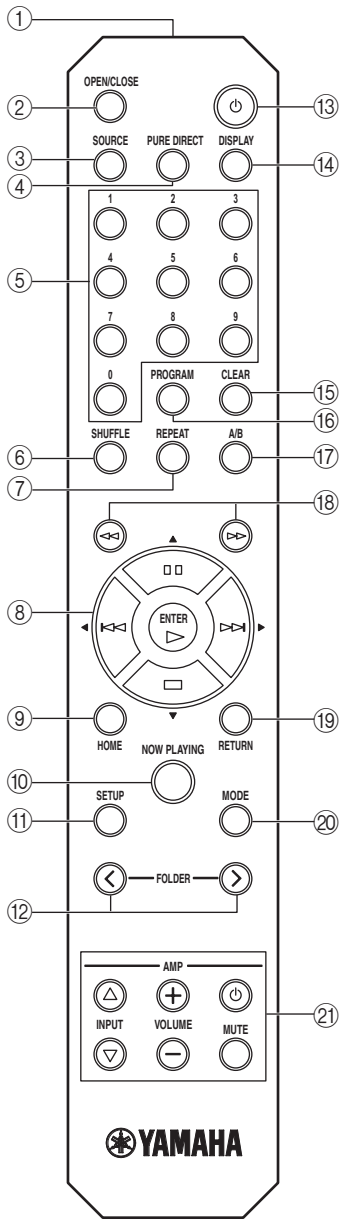
⑬ SELECT（セレクト）/ENTER（エンター）（ジョグダイヤル）（☞14、16、18、21、22、24 ページ）

回して選択項目を切り替え、押して選択を確定します。

⑭ RETURN（リターン）ボタン（☞14、16、21、22 ページ）

フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

リモコン



① リモコン信号送信部

本体にリモコン信号を送信します。

② OPEN/CLOSE（オープン クローズ）ボタン

ディスクトレイを開閉します。

③ SOURCE（ソース）ボタン

（☞14、16、18、20、22 ページ）

音声ソースの種類を選びます。押すたびに、以下のように音声ソースが切り替わります。
CD → USB → SERVER → NET RADIO → CD に戻る

④ PURE DIRECT（ピュア ダイレクト）ボタン

PURE DIRECT モードをオンまたはオフに切り替えます。PURE DIRECT モードをオンにすると、高音質な再生が楽しめます。

⑤ 数字ボタン（☞18 ページ）

トラック番号で曲を直接選択するときに使用します。

⑥ SHUFFLE（シャッフル）ボタン

（☞15、18、21、22 ページ）

シャッフルモードを切り替えます。

⑦ REPEAT（リピート）ボタン

（☞15、18、21、22 ページ）

リピートモードを切り替えます。

⑧ 再生操作ボタン

（☞14、16、18、21、22、23 ページ）

▷（再生）

再生を開始します。

□（停止）

再生を停止します。

▯▯（一時停止）

再生を一時停止します。

⏮（頭出し）

現在再生中のトラックの先頭か、前のトラックの先頭へ頭出しをします。

⏭（頭出し）

次のトラックの先頭へ頭出しをします。

▲/▼/◀/▶（カーソルボタン）/ENTER（エンター）ボタン

カーソルボタンで項目を選び、ENTER ボタンで選択を確定します。

⑨ HOME（ホーム）ボタン
（☞14、16、21、22 ページ）
フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。

⑩ NOW PLAYING（ナウ プレイング）ボタン
（☞15、17、21、22 ページ）
フロントパネルディスプレイに再生情報を表示します。

⑪ SETUP（セットアップ）ボタン（☞23 ページ）
フロントパネルディスプレイに設定メニューを表示します。

⑫ FOLDER（フォルダ）ボタン（</>）（☞18 ページ）
データ CD の音楽を再生しているときに、再生フォルダを切り替えます。

⑬ ⏻（電源）ボタン（☞10 ページ）
本機の電源（オンとスタンバイ）を切り替えます。

スタンバイについて詳しくは、「フロントパネル」（☞5 ページ）をご覧ください。

⑭ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン
（☞15、17、18、21、22 ページ）
フロントパネルディスプレイに表示されている再生情報などを切り替えます。

⑮ CLEAR（クリア）ボタン（☞19 ページ）
オーディオ CD のプログラム編集モード時に、最後にプログラムされているトラックを消去します。（データ CD には使えません。）

⑯ PROGRAM（プログラム）ボタン
プログラム再生モードをオン / オフします。プログラム再生モードでは、オーディオ CD のトラックをプログラムした順番で再生します。（データ CD には使えません。）詳しくは「プログラム再生をする」（☞19 ページ）をご覧ください。

⑰ A/B ボタン
オーディオ CD を 再生中に、開始位置と終了位置を指定して、その部分を繰り返し再生することができます（データ CD には使えません）。開始位置と終了位置（A と B）を指定するには、再生中に A/B ボタンを 2 回押します。A-B リピート演奏をやめるには、もう一度 A/B ボタンを押します。

- データ CD とは、MP3 や WMA ファイルが保存されているディスクのことを指します。
- 曲をまたいだ A-B リピートの設定はできません。
- データ CD や USB 機器には、A-B リピートの設定はできません。
- ■（停止）ボタンを押すと、A-B リピートは解除されます。
- PURE DIRECT モードがオンの時に、A-B リピートの設定はできません。
- トラックやディスクの残り時間がフロントパネルディスプレイに表示されている場合は、A-B リピートの設定はできません。

⑱ ◁◁（早戻し）、▷▷（早送り）ボタン
（☞18、21 ページ）
再生中に長押しすると、曲を早戻しまたは早送りします。

⑲ RETURN（リターン）ボタン
（☞14、16、21、22 ページ）
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

⑳ MODE（モード）ボタン（☞21 ページ）
iPod 使用時に、標準または拡張モードに切り替えます。

㉑ アンプ操作ボタン
ヤマハ製アンプを操作します。

⏻（電源）ボタン
アンプの電源（オン / オフ）を切り替えます。

INPUT（インプット）ボタン（△/▽）
入力ソースを切り替えます。

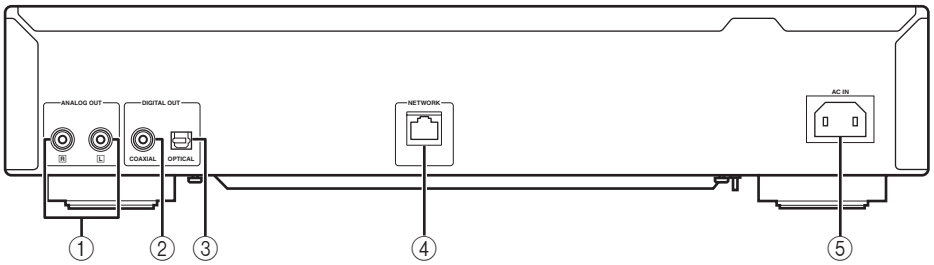
VOLUME（ボリューム）ボタン（+/–）
音量（ボリューム）を調節します。

MUTE（ミュート）ボタン
ミュート（消音）のオン / オフを切り替えます。

アンプの操作方法について詳しくは、お使いのアンプに付属している説明書をご覧ください。

一部のヤマハ製アンプには機能しません。

リアパネル



① ANALOG OUT 端子（☞9 ページ）

L/R のアナログ音声信号を出力します。お使いのアンプまたはオーディオ機器にステレオピンケーブル（付属）を使って接続します。

② DIGITAL OUT 端子（COAXIAL）（☞9 ページ）

デジタル音声信号を出力します。お使いのアンプまたはオーディオ機器に同軸デジタルケーブル（市販）を使って接続します。

③ DIGITAL OUT 端子（OPTICAL）（☞9 ページ）

デジタル音声信号を出力します。お使いのアンプまたはオーディオ機器に光デジタルケーブル（市販）を使って接続します。

④ NETWORK 端子（☞10 ページ）

LAN ケーブル（市販）使って、ネットワークへ接続します。

⑤ AC IN 端子（☞9 ページ）

電源コード（付属）をコンセントに接続します。

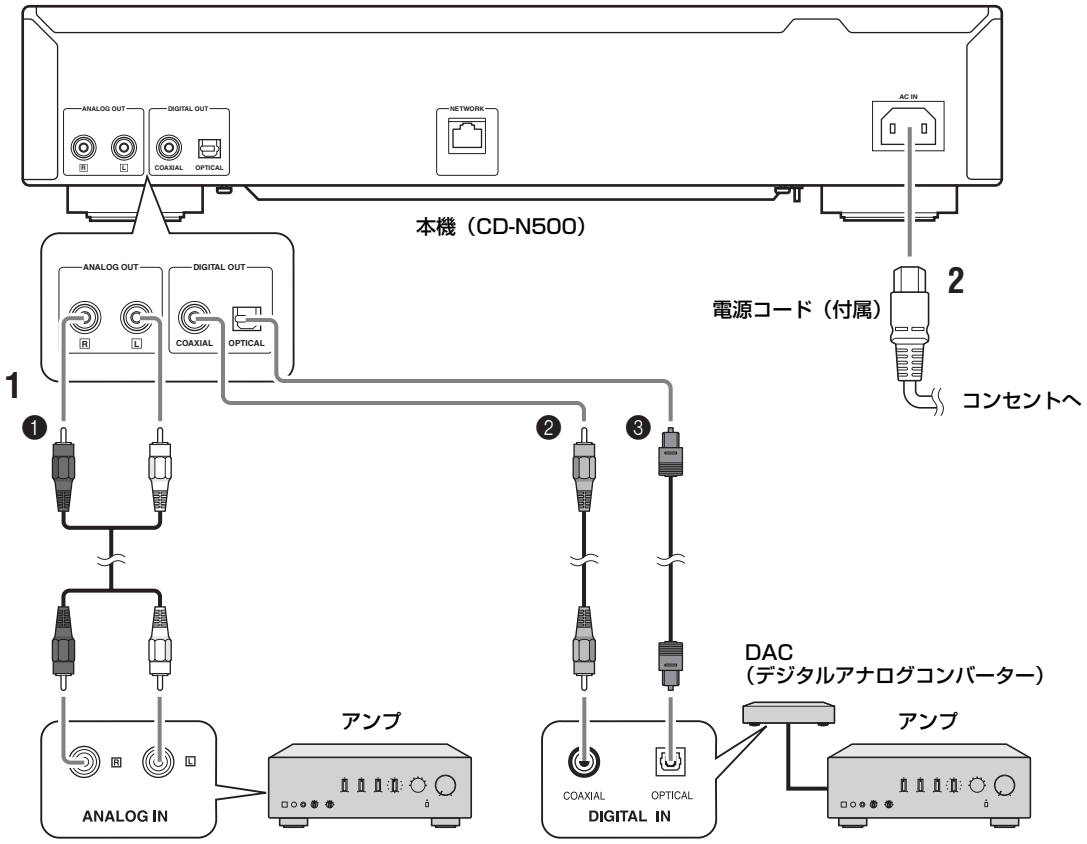
接続

本機で再生する前に必要な接続について説明します。

ご注意

・すべての接続が終わるまで、本機の電源コードをコンセントに接続しないでください。
・本機で再生をするためには、必ずアンプとスピーカーに接続してください。
・本機は、最大 192kHz/24 ビット・リニア PCM 信号までデジタル出力が可能です。
・接続される機器や接続環境によって、正常に再生できないことがあります。再生機器側の仕様や設定もご確認ください。

アンプに接続する



* PURE DIRECT モードがオンの時は、デジタル音声信号が出力されません。

1 以下のいずれかのケーブルを使って本機とアンプを接続する

❶ ステレオピンケーブル（付属）
❷ 同軸デジタルケーブル（市販）
❸ 光デジタルケーブル（市販）

2 付属の電源コードを AC IN 端子に接続してから、コンセントに接続する

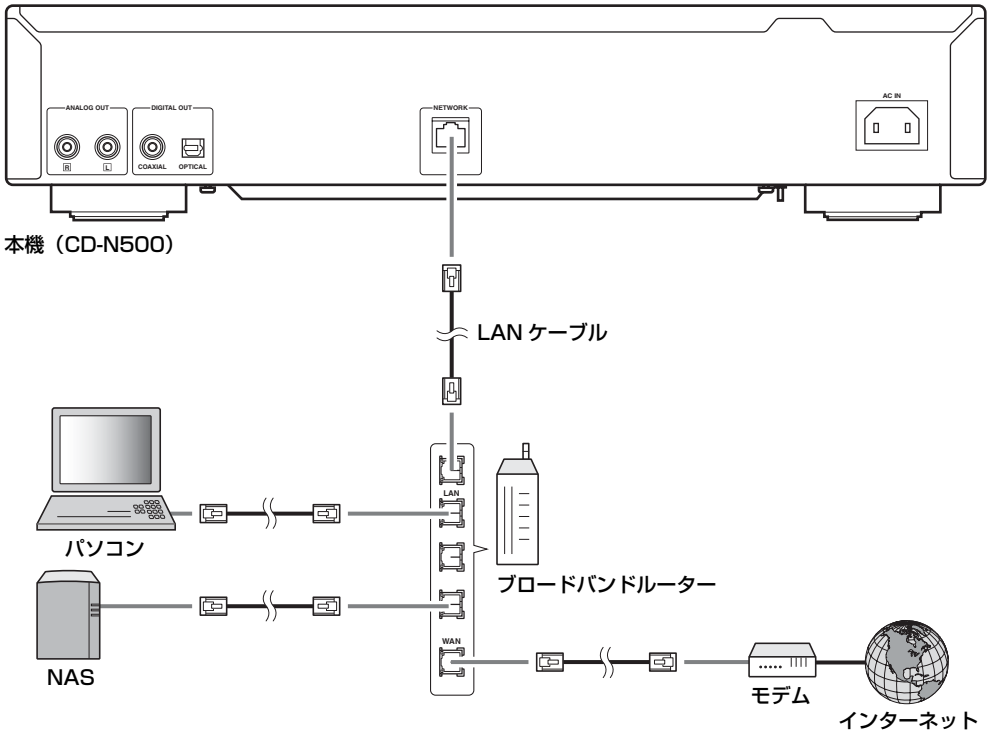
スピーカーの接続方法は、お使いのアンプまたはスピーカーに付属している説明書をご覧ください。

ご注意

デジタル接続の場合、使用するオーディオ機器（アンプなど）により、再生時に曲の先頭が途切れることがあります。

ネットワークに接続する（パソコン/NAS/インターネットの接続）

本機をネットワークに接続することで、パソコンや NAS 内の音楽ファイルや、インターネットの音声コンテンツを再生することができます。
市販のツイストペア LAN ケーブル（CAT5 以上、ストレートケーブル）を使って接続してください。

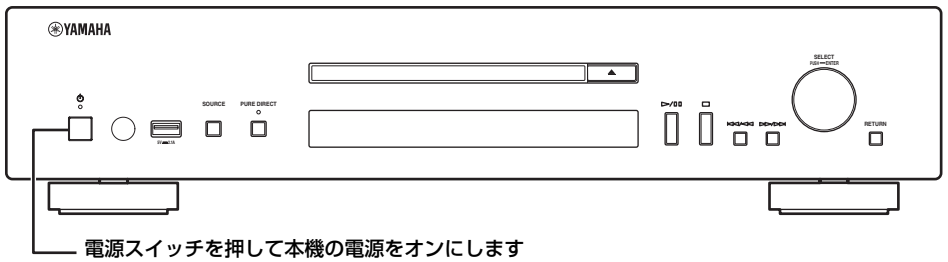


ご注意

・本機以外の機器はすべて別売りです。
・接続後、パソコンまたは NAS を設定する必要があります。設定について詳しくは、「パソコン /NAS/ モバイル端末の設定」（☞11 ページ）をご覧ください。
・高音質を保つため、各機器の接続は有線接続を推奨します。

本機の電源を入れる

ケーブル接続がすべて完了したら、本機と外部機器の電源を入れます。



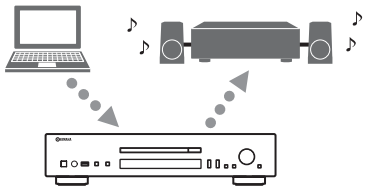
・本機の電源スイッチがオンのときは、リモコンの電源ボタンでオン / スタンバイを切り替えることができます（☞7 ページ）。
・スタンバイについて詳しくは、「フロントパネル」（☞5 ページ）をご覧ください。

パソコン/NAS/モバイル端末の設定

ネットワーク上のパソコンや NAS 内の音楽ファイルを再生したり、モバイル端末で本機を操作するための設定をします。

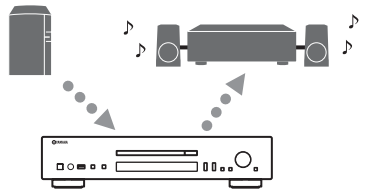
インターネット接続について詳しくは、お使いのネットワーク機器に付属している説明書をご覧ください。

▮ パソコンの設定をする

目的	設定	ページ
パソコン内の音楽ファイルを再生する。 	パソコンの共有設定を行ってください。 ・ Windows Media Player 12 を使って、音楽ファイルを共有設定します。	12

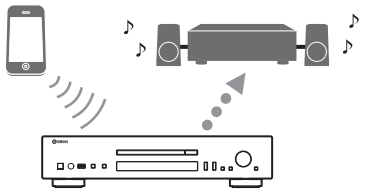
Windows Media Player を使ってパソコンから操作することができます。詳しくは Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

▮ NASの設定をする

目的	設定	ページ
NAS 内の音楽ファイルを再生する。 	NAS にアクセスするためには、以下の設定を行ってください。 ・ NAS の共有設定を行う ・ NAS の DHCP 設定を有効にする * 使用する NAS により設定方法は異なります。NAS に付属している説明書をご覧ください。	–

* お使いの NAS の DHCP が自動的に IP アドレスなどの必要な情報を取得したとき。ネットワークの設定を手動で行いたい場合は、お使いの IP アドレスが他のネットワーク機器で使用されていないか確認してください。

▮ モバイル端末の設定をする

目的	設定	ページ
モバイル端末で本機を操作する。 	専用アプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。 ・ モバイル端末の DHCP 設定を有効にする *	13

* お使いの NAS の DHCP が自動的に IP アドレスなどの必要な情報を取得したとき。ネットワークの設定を手動で行いたい場合は、お使いの IP アドレスが他のネットワーク機器で使用されていないか確認してください。

パソコン内の音楽ファイルを共有する

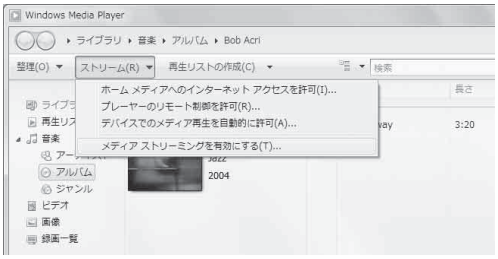
本機からパソコンのフォルダ（ディレクトリ）を閲覧するときは、Windows Media Player 12 か Windows Media Player 11 の共有設定を変更する必要があります。設定変更により、本機からパソコンのフォルダにアクセスできるようになります。詳しくは Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

本機には、最大で 16 台のメディアサーバーが接続できます。

▮ Windows Media Player 12（Windows 7）を使う場合

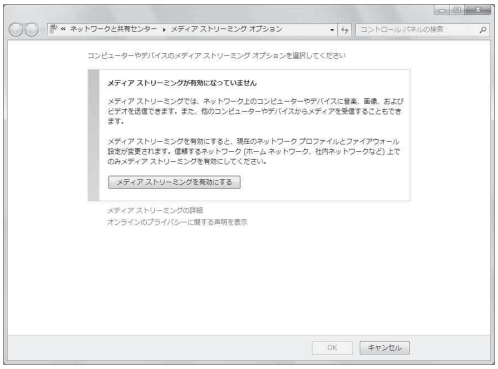
1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。

2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。

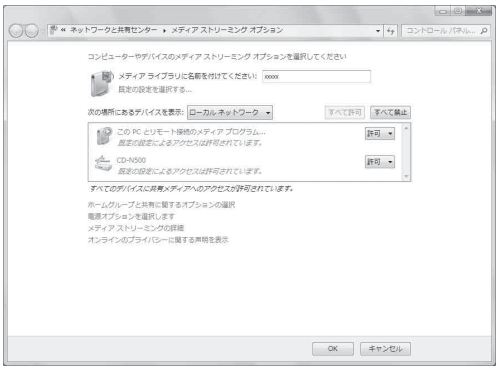


パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。

3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。



4 「CD-N500」右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。



5 手順 4 と同様に、メディアコントローラーとして使いたい機器（ほかのパソコンやモバイル端末）のアイコンを選んで「許可」をクリックする。

6 「OK」をクリックして設定を終了する。

▮ Windows Media Player 11を使う場合

1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。

2 「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。

3 「メディアを共有する」をチェックし、「CD-N500」アイコンを選んで「許可」をクリックする。

4 手順 3 と同様に、メディアコントローラーとして使いたい機器（ほかのパソコンやモバイル端末）のアイコンを選んで「許可」をクリックする。

5 「OK」をクリックして設定を終了する。

モバイル端末で操作する

モバイル端末の画面を見ながら、本機を操作することができます。

▮ 専用アプリケーションを使う

専用アプリケーション（フリーアプリケーション）を使って以下の操作ができます。

- パソコンや NAS に保存されている音楽ファイルを選択、再生することができます。
- インターネットラジオを選択することができます。
- CD や USB 機器の再生操作ができます。

パソコンや NAS の設定については「パソコン /NAS/ モバイル端末の設定」（☞11 ページ）をご覧ください。

▮ 専用アプリケーションについて

専用アプリケーションをダウンロードして、モバイル端末にインストールしてください。
詳しくはヤマハのウェブサイトをご覧ください。

パソコン/NASの音楽ファイルの再生

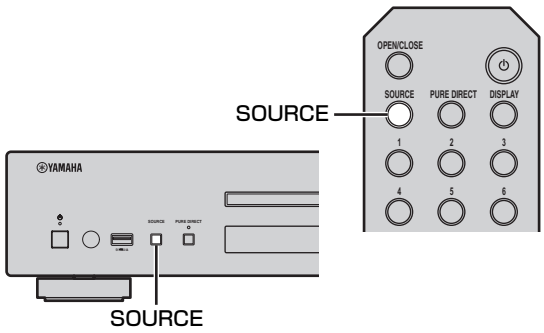
本体のフロントパネルのボタンやリモコンを使って再生する方法を説明します。

本体やリモコンで操作する

本体とリモコンの操作ボタンやノブについて詳しくは、「各部の名称と機能」（☞5 ページ）をご覧ください。

1 SOURCE ボタンを押して、音声ソースを「SERVER」に切り替える。

本体 / リモコン

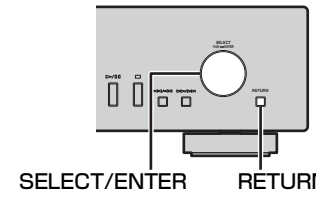


フロントパネルディスプレイ

Source	SERVER

2 以下のボタンを使って、目的のメニュー項目から再生したい音楽ファイルを選ぶ。

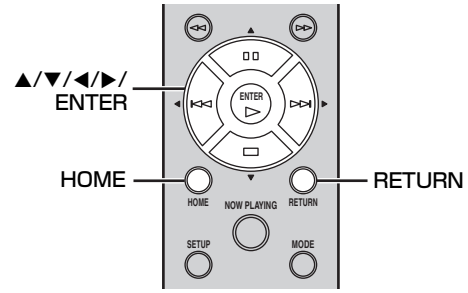
本体



SELECT/ENTER（ジョグダイヤル）
回してメニュー項目を切り替え、押して選択を確定します。

RETURN
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

リモコン



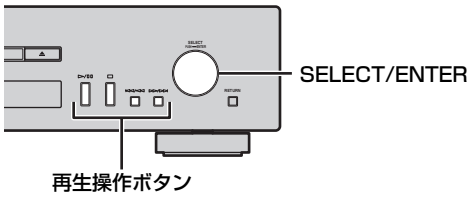
▲/▼/◀/▶（カーソルボタン）/ENTER
▲/▼ ボタンを押してメニューを選択します。（または ◀/▶ ボタンを押して、現在のコンテンツの位置を表すゲージを表示します。）その後、ENTER ボタンを押して選択を確定します。

RETURN
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

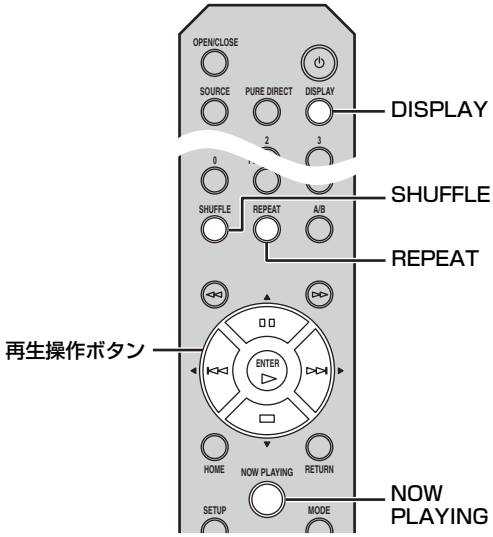
HOME
フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。

3 再生が始まったら、以下のボタンを使って操作する。

本体



リモコン



SELECT/ENTER（ジョグダイヤル）
再生中に回すと次のトラックへ頭出しします、または前のトラック / 現在のトラックの先頭へ頭出しします。

再生操作ボタン
再生操作ボタンを使ってコンテンツを操作します。（☞5、6 ページ）

DISPLAY
曲の再生中もしくは一時停止中にこのボタンを押すと、フロントパネルディスプレイに表示される情報が以下のように切り替わります。

Song → Artist → Album → Time → Source

SHUFFLE
シャッフルモードが以下のように切り替わります。

On → Off

REPEAT
リピートモードが以下のように切り替わります。

One → All → Off

NOW PLAYING
現在の再生情報をフロントパネルディスプレイに表示します。

・再生中の曲を停止して、また再生したときは、同じトラックの最初から始まります。
・再生可能なファイルについて詳しくは、「再生できるファイルフォーマット / ディスク」（☞31 ページ）をご覧ください。

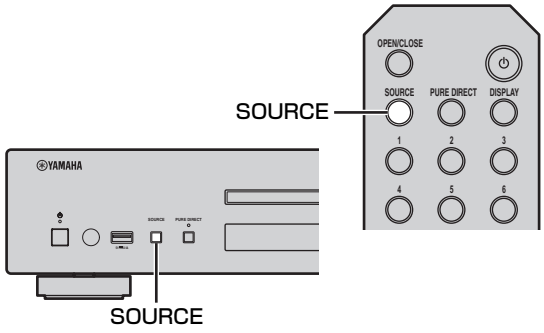
インターネットの音声コンテンツの再生

インターネットラジオを聴く

▮ 本体やリモコンで操作する

1 SOURCE ボタンを押して、音声ソースを「NET RADIO」に切り替える。

本体 / リモコン

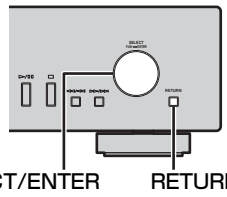


フロントパネルディスプレイ

Source	NET RADIO

2 以下のボタンを使って、目的のメニュー項目から再生したいインターネットラジオ局を選ぶ。

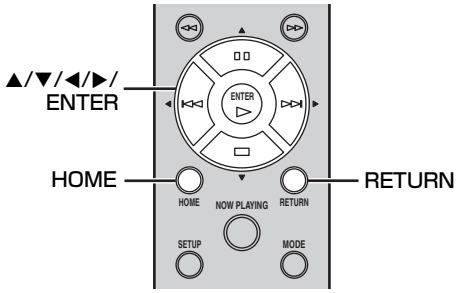
本体



SELECT/ENTER（ジョグダイヤル）
回してメニュー項目を切り替え、押して選択を確定します。

RETURN
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

リモコン



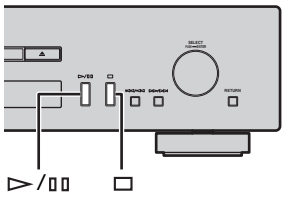
▲/▼/◀/▶（カーソルボタン）/ENTER
▲/▼ ボタンを押してメニューを選択します。（または ◀/▶ ボタンを押して、現在のコンテンツの位置を表すゲージを表示します。）その後、ENTER ボタンを押して選択を確定します。

RETURN
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

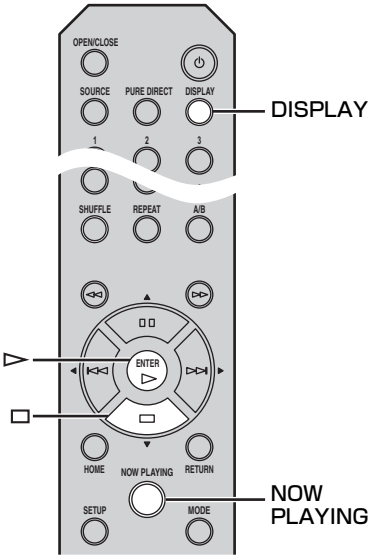
HOME
フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。

3 再生が始まったら、以下のボタンを使って操作する。

本体



リモコン



▻/▯▯（再生 / 一時停止）または▻（再生）
再生を開始します。

□（停止）
再生を停止します。

DISPLAY
曲の再生中もしくは一時停止中にこのボタンを押すと、フロントパネルディスプレイに表示される情報が以下のように切り替わります。

Station → Time → Source

NOW PLAYING
現在の再生情報をフロントパネルディスプレイに表示します。

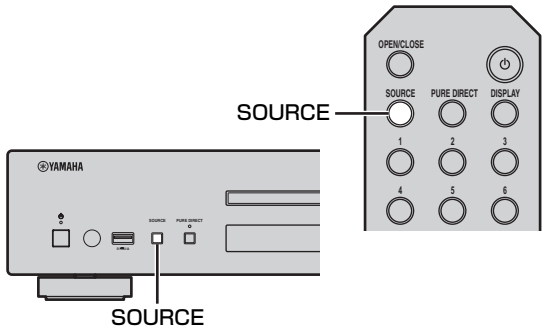
「vTuner Radio Guide」ウェブサイトでお気に入りのインターネットラジオ局を登録できます。以下の URL にアクセスしてアカウントを取得してください。
http://yradio.vtuner.com/
アカウントの取得には、メディアプレーヤーの認識番号として本機の MAC アドレス（☞24 ページ）、およびメールアドレスが必要になります。

CDの再生

CDを再生する

1 SOURCE ボタンを押して、音声ソースを「CD」に切り替える。

本体 / リモコン



フロントパネルディスプレイ

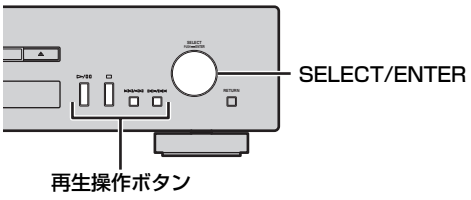
Source	CD

2 本体の≙（開閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする。

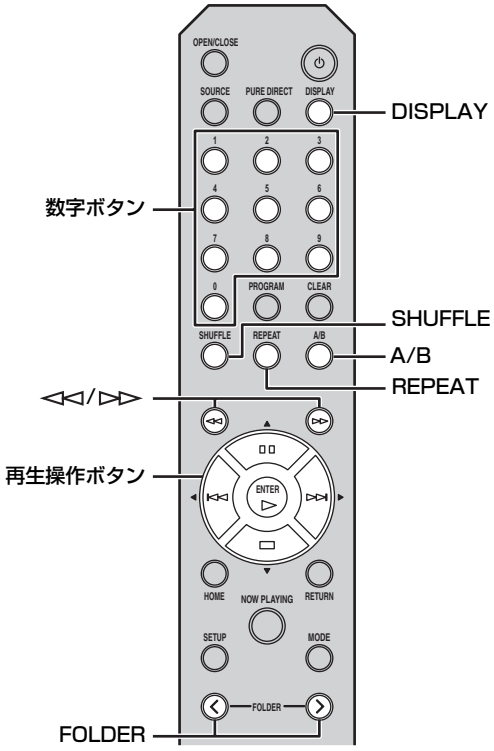
3 ≙（開閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。
自動的に再生が開始されます。

4 再生が始まったら、以下のボタンを使って操作する。

本体



リモコン



SELECT/ENTER（ジョグダイヤル）
再生中に回すと次のトラックへ頭出しします、または前のトラック / 現在のトラックの先頭へ頭出しします。

再生操作ボタン
再生操作ボタンを使ってコンテンツを操作します。（☞5、6 ページ）

数字ボタン（オーディオ CD のみ）
CD のトラックを選択するときに使います。

◁◁（早戻し）/▷▷（早送り）
早送り / 早戻しします。

FOLDER（</>）（データ CD のみ）
フォルダを選択します。

DISPLAY
曲の再生中もしくは一時停止中にこのボタンを押すと、フロントパネルディスプレイに表示される情報が以下のように切り替わります。

オーディオ CD:

Time → (Song) → (Artist) → (Album) → Source

・「Time」は、ボタンを押すたびに 3 段階で、以下のように切り替わります
－トラック番号と再生経過時間
－トラック番号とトラックの再生残り時間
－ディスクの再生残り時間
・「Song」、「Artist」、「Album」は、テキスト情報がディスクに含まれているときに表示されます。

データ CD:

Time → Song → Artist → Album → Source

SHUFFLE
シャッフルモードを以下のように「Folder」、「All」、「Off」に切り替えます。

オーディオ CD: All → Off

データ CD: Folder → All → Off

A/B（オーディオ CD のみ）
オーディオ CD の再生時に、トラックの指定した部分を繰り返し再生します（データ CD には使えません）（☞7 ページ）。

REPEAT
リピートモードが以下のように切り替わります。

オーディオ CD: One → All → Off

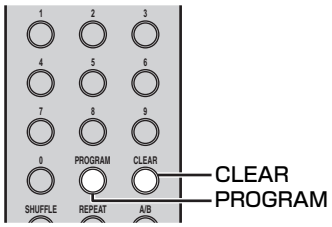
データ CD: One → Folder → All → Off

・再生中の曲を停止して、また再生したときは、同じトラックの最初から再生されます。
・再生停止時に□（停止）を押して、また再生したときは、CD の最初のトラックから再生されます。
・再生可能なディスクとファイルについて詳しくは、「再生できるファイルフォーマット / ディスク」（☞31 ページ）をご覧ください。

プログラム再生をする

プログラム再生モードでは、トラックをプログラムした順番で再生します。

1 再生を停止している間にリモコンの PROGRAM ボタンを押す。
本機がプログラム編集モードに切り替わります。



2 数字ボタンを使用してトラックを 1 つ選び、ENTER ボタンを押して確定する。

3 手順 2 を繰り返して次のトラックを入力する。
最大で 50 トラックまでプログラムできます。

プログラムした曲を消去したい場合は、編集モード時に CLEAR ボタンを押してください。最後にプログラムした曲から順に消去されます。

4 本体の▻/▯▯（再生 / 一時停止）ボタン、またはリモコンの▻（再生）ボタンを押す。
プログラムした順序で再生が始まります。

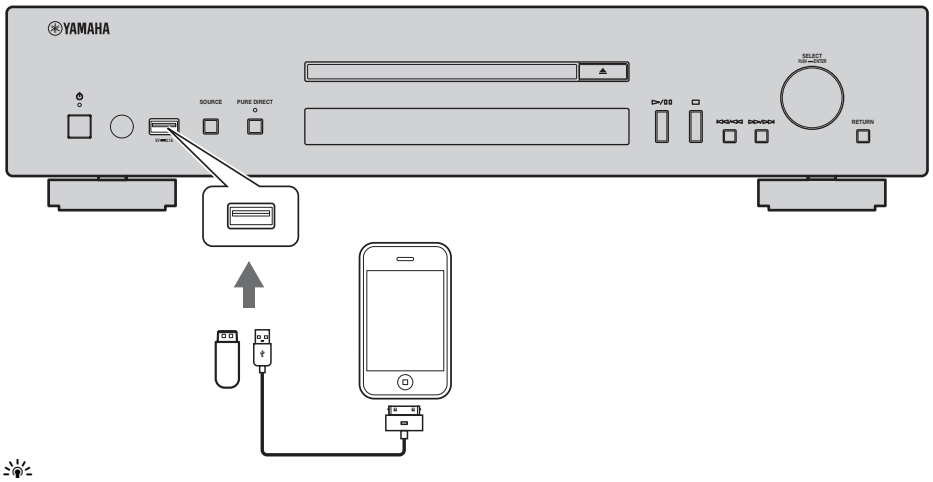
・プログラム再生が停止しているときに CLEAR ボタン を押すと、プログラムされたトラックをすべて消去できます。
・データ CD ではこの機能を使用できません。

ご注意

ディスクを取り出したり、本機の電源をオフにすると、プログラムされたトラックはすべて消去されます。

iPod/USB機器の再生

iPodやUSB機器を接続する

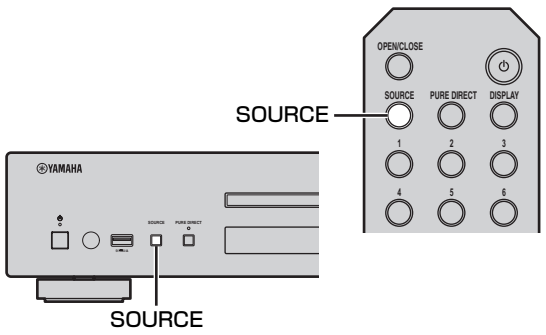


・iPod は iPod に付属のケーブルを使用して接続してください。
・再生を停止してから USB 機器を取り外してください。
・USB ハブは使用しないでください。USB ハブを使用すると、本機が USB 機器を認識できません。

iPodを再生する

1 SOURCE ボタンを押して、音声ソースを「USB」に切り替える。

本体 / リモコン



フロントパネルディスプレイ

Source	USB

2 iPod を本体の USB 端子に接続する。

3 iPod で再生を開始する。
iPod を操作して、再生、選曲、一時停止、停止などを行います（標準モード）。

・標準モードのとき、本体とリモコンの再生操作ボタンを使って、再生、一時停止、停止、前後の頭出し、早送り、早戻しができます。
本体：
▷/▯▯、□、⏮/◁◁、▷▷/⏭
リモコン：
▷、▯▯、□、⏭、⏮、▷▷、◁◁
・標準モードのとき、iPod またはリモコンでシャッフルとリピートモードの操作はできません。

ご注意

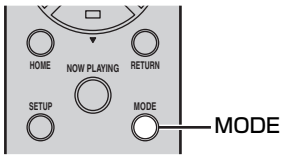
iPod のソフトウェアが古いと正常に動作しないことがあります。必ず最新の iPod ソフトウェアでお使いください。本機が対応している iPod について詳しくは、「本機の USB 端子で使用できる iPod」（☞31 ページ）をご覧ください。

拡張モードでiPodを再生する

本体またはリモコンを使い、拡張モードで iPod を操作することができます。

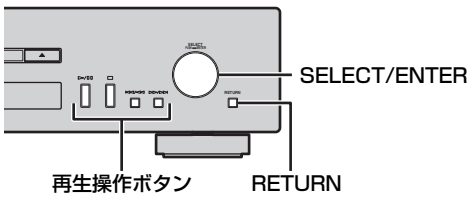
1 iPod の再生中に、リモコンの MODE ボタンを押す。

拡張モードに切り替わります。

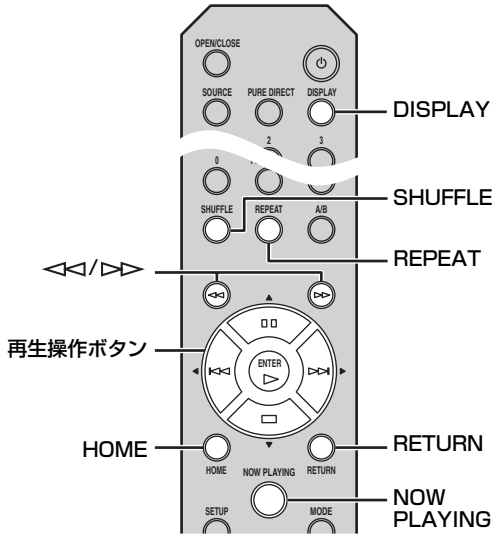


2 以下のボタンを使って操作する。

本体



リモコン



SELECT/ENTER（ジョグダイヤル）
再生中に回すと次のトラックへ頭出しします、または前のトラック / 現在のトラックの先頭へ頭出しします。

再生操作ボタン *
再生操作ボタンを使ってコンテンツを操作します。（☞5、6 ページ）

RETURN
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

◁◁（早戻し）/▷▷（早送り）*
早送り / 早戻しします。

HOME
フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。

DISPLAY
曲の再生中もしくは一時停止中にこのボタンを押すと、フロントパネルディスプレイに表示される情報が以下のように切り替わります。

Song → Artist → Album → Time → Source

SHUFFLE*
iPod のシャッフルモードが以下のように切り替わります。

Songs → Albums → Off

REPEAT*
リピートモードが以下のように切り替わります。

One → All → Off

NOW PLAYING
現在の再生情報をフロントパネルディスプレイに表示します。

* iPod によって操作が異なります。

iPod で再生が可能なファイルフォーマットは、お使いの iPod によって異なります。

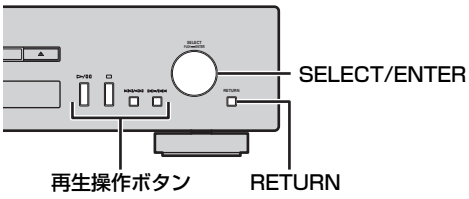
USB機器を再生する

1 **本体またはリモコンの SOURCE ボタンを押して、音声ソースを「USB」に切り替える（☞20 ページ）。**

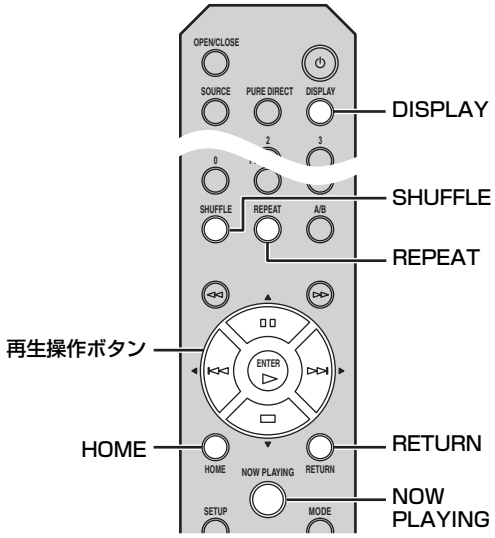
2 **USB 機器を本体の USB 端子に接続する。**
USB 機器内に再生可能なファイルがあるときは、ファイル名がフロントパネルディスプレイに表示され、自動的に再生が開始されます。再生は、ファイルが作成された日時の順に行われます。

3 **再生が始まったら、以下のボタンを使って操作する。**

本体



リモコン



SELECT/ENTER（ジョグダイヤル）
再生中に回すと次のトラックへ頭出しします、または前のトラック / 現在のトラックの先頭へ頭出しします。

再生操作ボタン
再生操作ボタンを使ってコンテンツを操作します。（☞5、6 ページ）

RETURN
フロントパネルディスプレイに 1 つ上の階層のメニューを表示します。

HOME
フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。

DISPLAY
曲の再生中もしくは一時停止中にこのボタンを押すと、フロントパネルディスプレイに表示される情報が以下のように切り替わります。

Song → Artist → Album → Time → Source

SHUFFLE
シャッフルモードが以下のように切り替わります。

On → Off

REPEAT
リピートモードが以下のように切り替わります。

One → All → Off

NOW PLAYING
現在の再生情報をフロントパネルディスプレイに表示します。

- 再生中の曲を停止して、また再生したときは、同じトラックの最初から再生されます。
- 再生可能なファイルについて詳しくは、「再生できるファイルフォーマット / ディスク」（☞31 ページ）をご覧ください。

設定メニュー

設定メニューでは、本機の各種設定を変更できます。

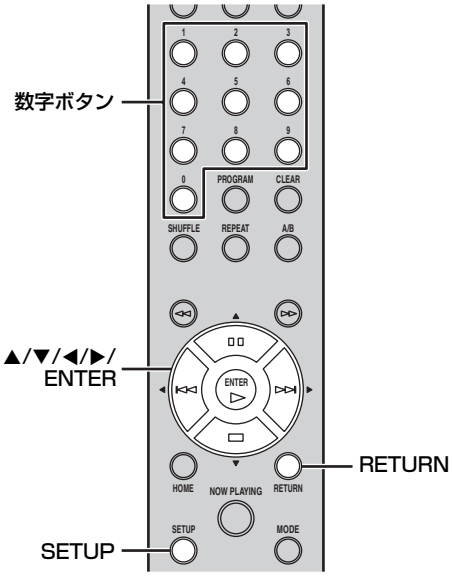
設定を変更する

▮ リモコンで操作する

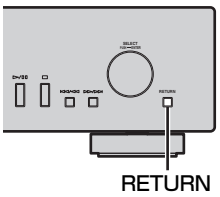
本体とリモコンの操作ボタンやノブについて詳しくは、「各部の名称と機能」（☞5 ページ）をご覧ください。

1 SETUP ボタンを押して設定メニュー（☞24 ページ）に切り替える。
拡張設定メニューの項目（☞25 ページ）も選択可能にするには、本体の RETURN ボタンを押しながら、SETUP ボタンを押す。

リモコン



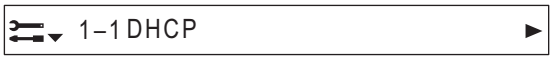
本体



フロントパネルディスプレイ



2 ▲/▼ ボタンを押して目的のメニュー項目を選び、ENTER ボタンを押す。
選択したメニュー項目の配下にサブメニューがある場合は、手順 2 を繰り返してサブメニュー項目も選んでください。



3 ▲/▼ ボタンを押して適用する設定値を選び、ENTER ボタンを押す。

・一部のメニュー項目では、数値アドレスの入力が必要になります。この場合は、◀/▶ ボタンで位置を移動し、▲/▼ ボタンで数値を選んだり、または数字ボタンを使用して選び、ENTER ボタンを押して内容を確定してください。
・RETURN ボタンを押すと、1 つ上の階層のメニュー項目を表示します。

設定メニュー一覧

メニュー	サブメニュー	設定値（太字：初期値）	機能
ネットワーク Network コンフィグレーション Configuration	DHCP	**On**, Off	DHCP サーバーを使って本機の IP アドレスを自動で割り当てる場合は「On」を選びます。IP アドレスを手動で指定する場合は「Off」を選びます。
	アドレス IP Address		「DHCP」が「Off」の場合に、IP アドレスを指定します。*1
	サブネット Subnet マスク Mask		「DHCP」が「Off」の場合に、サブネットマスクを指定します。*1
	デフォルト Default ゲートウェイ Gateway		「DHCP」が「Off」の場合に、デフォルトゲートウェイを指定します。*1
	DNS サーバー Server (P)		「DHCP」が「Off」の場合に、プライマリ DNS サーバーを指定します。*1
	DNS サーバー Server (S)		「DHCP」が「Off」の場合に、セカンダリ DNS サーバーを指定します。*1
ネットワーク Network インフォメーション Information	マック MAC アドレス Address		本機の MAC アドレスが表示されます。この MAC アドレスは、vTuner ID としても使います。
	ステータス Status		本機のネットワークステータスが表示されます。（接続時：「Connected」、非接続時：「Not connected」）
	システム System ID		システム認識番号が表示されます。
ネットワーク スタンバイ Network Standby		On, **Off**	ネットワークスタンバイに設定する場合は「On」を選びます。
オート パワー ダウン Auto Power Down		4 Hours, 8 Hours, 12 Hours, **Off**	本機がオンで操作がされない状態のまま、設定した時間を経過すると、本機は自動的にスタンバイモードに切り替わります。
ディマー Dimmer		- 3 ～ **0**	フロントパネルディスプレイの明るさを調節します。
ファームウェア バージョン Firmware Version			本機にインストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。
ファームウェア アップデート Firmware Update		**Network**, USB	「Network」または「USB」を選択後、本機のファームウェアを更新します。「Press ENTER to start」が表示されたら、ENTER ボタンを押してファームウェアを更新してください。「UPDATE SUCCESS」と表示されるまでは、本機を操作しないでください。その後、本機の電源を一度オフにして、再びオンにしてください。

*1「DHCP」が「On」の場合は、DHCP サーバーから割り当てられた値（IP アドレスなど）を確認できます。

拡張設定メニュー一覧

以下のメニュー項目は、本体の RETURN ボタンを押しながら、リモコンの SETUP ボタンを押した場合のみ選択可能です。

メニュー	設定値（太字：初期値）	機能
マック アドレス フィルター MAC Address Filter	On, **Off**	本機にアクセスできるネットワーク機器の MAC アドレス（最大 5 個）を指定する場合は、「On」を選びます（「Address1」から「Address5」）。MAC アドレスフィルタを無効にする場合は「Off」を選びます。
ギャップレス プレイバック Gapless Playback	**On**, Off	曲間の無音を自動的にスキップする場合（ギャップレス再生）は「On」を選びます。ギャップレス再生を無効にする場合は「Off」を選びます。この機能は、「SERVER」の音声ファイルのみが対象です。 ☼ 「Gapless Playback」が「On」の場合、再生中の曲の終わりで本機は次の曲のデータ読み込みを開始します。このタイミングで再生操作（スキップ、リピートなど）を行うと、次の曲に適用されます。
ブイチューナー アカウント リセット vTuner Account Reset	Yes, **No**	vTuner のアカウントを消去する場合は「Yes」を選びリモコンの ENTER ボタンを押します。 ☼ ・ vTuner のアカウントを消去すると、ユーザーネーム、パスワード、ブックマークも消去されます。 ・ 新しいアカウントを作成するには、以下の URL にアクセスしてください。 http://yradio.vtuner.com/ アカウントの取得には、メディアプレーヤーの認識番号として本機の MAC アドレス、およびメールアドレスが必要になります。
イニシャライズ Initialize	Yes, **No**	本機の設定をすべて初期化する場合は「Yes」を選びます。次回本機の電源を入れたときに、設定が反映されます。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

▮ 一般

症状	原因	対策	ページ
本機の電源が入らない	電源コードが本体の AC IN 端子に接続されていない、または電源プラグが AC コンセントに接続されていない。	電源コードを正しく接続してください。	9
	本機が外部電気ショック（落雷または過度の静電気）を受けた。	AC コンセントから電源プラグを抜き、30 秒後にもう一度差し込んでください。	–
	保護回路が 3 回続けて作動した。本機がこのような状態になり電源を入れようとすると、本体の電源インジケーターが点滅します。	安全上の予防措置として、電源を入れる機能が停止しました。お買い上げ店または窓口にお問い合わせください。	–
フロントパネルの電源インジケーターが点滅する	本機内部の回路に異常がある。	電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または窓口にお問い合わせください。	–
電源が突然オフになる	本機がスタンバイモードとなった。	設定メニューの「Auto Power Down」で設定した時間が経過するまで、操作がされなかった場合に、本機は自動的にスタンバイモードに切り替わります。	24
音声が出ない	本機とアンプがしっかり接続されていない。	接続を確認してください。接続に問題がなければ、別のケーブルに交換してください。	9
	アンプ側で正しい音声入力が選ばれていない。	アンプ側の音声入力を本機からの音声に切り替えてください。	–
	アンプがデジタル信号に対応していない。	アナログ信号で接続してください。	9
雑音が入る	デジタル機器や高周波機器が本機の近くに置かれている。	本機と該当機器の距離を離してください。	–
	本機と再生機器を接続しているケーブルが破損している。	接続を確認してください。接続に問題がなければ、別のケーブルに交換してください。	–
リモコンで本機を操作できない、または正しく機能しない	リモコン操作範囲からはずれている。	本体のリモコン受光窓から 6m 以内、リモコン受光部の正面から左右 30° 以内の範囲で操作してください。	4
	本機のリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。	照明、または本機の向きを変えてください。	–
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。	4
リモコンのアンプ操作ボタンが機能しない	ヤマハ製以外のアンプを使っている。（ヤマハ製でも一部のアンプには機能しません。）	アンプに付属しているリモコンをご使用ください。	–

■ ネットワーク

症状	原因	対策	ページ
ネットワーク機能を使用できない	ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の設定メニューで「DHCP」を「On」に設定してください。DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機の IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください。	24
パソコンが検出されない	メディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください。	11
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	セキュリティソフトの設定をご確認ください。	–
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。	10
	本機への接続が MAC アドレスフィルター機能によって制限されている。	本機の設定メニューで MAC アドレスフィルター機能を解除してください。	24
	使用しているネットワーク機器間で、複数のルーター（2 重ルーター）が接続されている。	一時的にインターネット接続を外し、ローカルネットワークを確認し、使いたいネットワーク機器を同じルーターに接続してください。	–
パソコンのファイルが表示（再生）されない	本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください。本機が対応している音楽ファイルについては「再生できるファイルフォーマット / ディスク」をご覧ください。	31
本機で再生できない音楽ファイルがある	iTunes Store で購入した著作権保護（DRM）付き音楽ファイルを再生しようとしている。	iTunes Store で購入した著作権保護（DRM）付き音楽ファイルは再生できません。	31

■ インターネットの音声コンテンツ

症状	原因	対策	ページ
インターネットラジオを再生できない	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	–
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	–
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。	–

■ CD

症状	原因	対策	ページ
ディスクトレイが完全に閉まらない	ディスクトレイに異物が入っている。	ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。	–
ディスクを入れても再生できない	ディスクに傷がある。	ディスクを交換してください。	–
	本機内部のレンズが結露している。	本機をオンにして 20 ～ 30 分待ってから再度ディスクを再生してください。	–
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。	–
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	32
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	31
	正しく録音されていない CD-RW ディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	31
	本機が対応していない規格外のディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	31
再生が遅れて始まったり、正しくない位置から始まる	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクをクリーニングするか、傷のないディスクに交換してください。	32
ディスクトレイから雑音がする	ディスクが変形している。	変形のないディスクに交換してください。	–

▮ iPod/USB機器

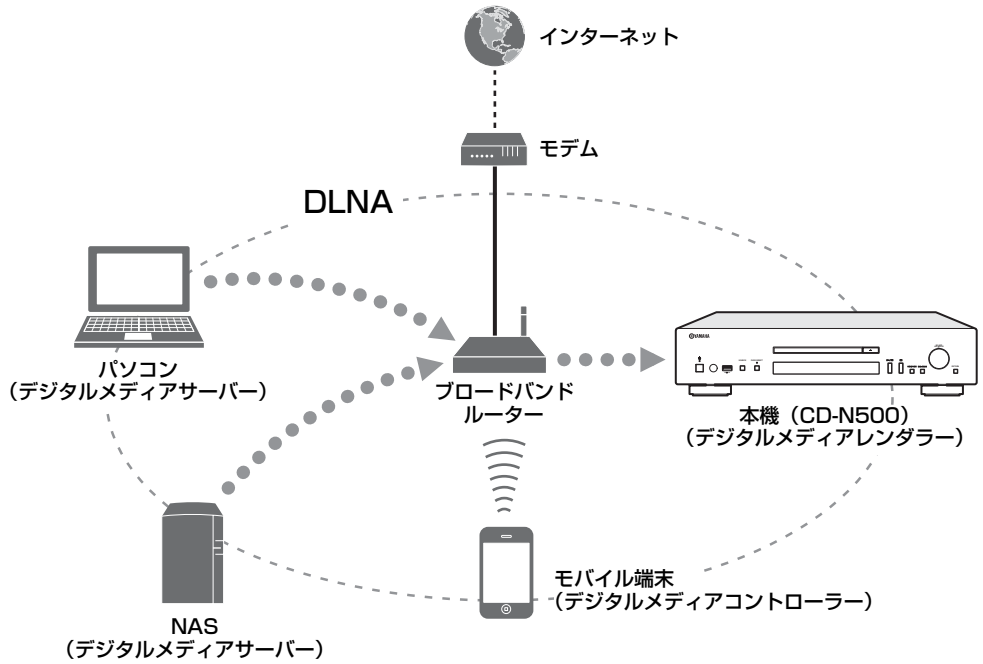
症状	原因	対策	ページ
iPod を接続しても再生できない	iPod が対応していない。	対応する iPod を接続してください。	31
USB 機器の再生ができない	USB 機器が正しく接続されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	20
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	正しく録音され、本機に対応したファイルを使用してください。	31
	本機が「USB」以外の音声ソースになっている。	本体またはリモコンの SOURCE ボタンを押して、音声ソースを「USB」に切り替えてください。	22

フロントパネルディスプレイの表示メッセージ

メッセージ	状態
Access error	USB 機器にアクセスできません。
	iPod にアクセスできません。
	非対応の iPod が接続されています。
	ネットワーク経路に問題が発生しています。
Unable to play	本機は指定されたコンテンツを再生できません。
List updated	メディアサーバーのコンテンツリストが更新されました。
No content	コンテンツが見つかりません。
Not available	実行した操作は無効です。
Searching…	本機はコンテンツを探しています。
No disc	CD がディスクトレイに入っていません。
Connect error	iPod もしくは USB 機器の接続ができません。
No device	iPod もしくは USB 機器が接続されていません。
USB overloaded	USB 機器に過電流が流れています。
Loading…	指定されたコンテンツを読み込み中です。
Unknown iPod	接続されている iPod は本機では対応していません。

補足情報

DLNA（Digital Living Network Alliance）と NAS（Network Attached Storage）について説明します。



▮ DLNA

「DLNA」とは Digital Living Network Alliance（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）の略で、デジタル家電など家庭内ネットワークの相互接続の標準化を推進するガイドラインです。
対象機器は、デジタルメディアサーバー（DMS）、デジタルメディアレンダラー（DMR）、デジタルメディアプレーヤー（DMP）、デジタルメディアコントローラー（DMC）の 4 つのカテゴリーに分類されます。
「デジタルメディアサーバー（DMS）」とは、音楽ファイルなどのデジタルコンテンツの保存や配信のための機能を備える機器です。本機を使ったシステムでは、パソコンや NAS が「デジタルメディアサーバー（DMS）」に該当します。
「デジタルメディアコントローラー（DMC）」とはデジタルコンテンツを制御する機器です。本機を使ったシステムでは、モバイル端末の専用アプリケーションが「デジタルメディアコントローラー（DMC）」に該当します。
「デジタルメディアレンダラー（DMR）」とは本機のように、「デジタルメディアコントローラー（DMC）」から制御信号を受信し、デジタルコンテンツを再生する機器です。同様に、「デジタルメディアプレーヤー（DMP）」もデジタルコンテンツの再生機能を備えた機器です。

▮ NAS

「NAS」とは Network Attached Storage（ネットワーク接続ストレージ）の略で、ホームネットワークに LAN ケーブルで直接接続する、ハードディスクドライブなどのストレージ機器を指します。DLNA に対応した NAS を利用すれば、デジタルメディアサーバーとして音楽や画像、動画ファイルを自宅のホームネットワーク上で共有することができます。

再生できるファイルフォーマット/ディスク

再生できるメディアと機器

▮ 本機で使用できるパソコン

Windows Media Player 11 か Windows Media Player 12 がインストールされたパソコン。

▮ 本機で使用できるNAS

DLNA バージョン 1.5 に対応した NAS。

▮ 本機で使用できるUSB機器

機器	クラス / プロトコル	ファイルフォーマット
USB メモリー機器	MSC（マスストレージクラス）	FAT16/32
USB オーディオプレーヤー	MSC（マスストレージクラス）	FAT16/32

ご注意

- お使いの USB 機器によっては正常に作動しないことがあります。
- 暗号化機能付きの USB 機器は使用できません。
- USB マスストレージクラス以外の機器（USB チャージャーや USB ハブ、パソコン、外付け HDD など）は本機に接続しないでください。
- ヤマハ、および販売店では、本機に接続した USB 機器に記録されているデータの消失に関して責任を負いかねます。データの消失に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。
- すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。

▮ 本機のUSB端子で使用できるiPod

iPod	iPhone	iPad
iPod touch、iPod nano（第 2 ～ 6 世代）	iPhone、iPhone 3G、iPhone 3GS、iPhone 4、iPhone 4S	iPad、iPad 2、iPad（第 3 世代）

* 2012 年 8 月現在

ご注意

- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 本機と iPod を組み合わせてご使用の際、iPod のデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。データの不具合に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。

▮ 本機で使用できるモバイル端末

詳しくは、ヤマハのウェブサイトをご覧ください。

▮ 再生できるディスク

下記のマークが付いたディスクをお使いください。

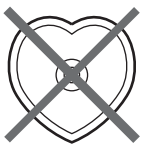
マーク	詳細
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	コンパクトディスク（オーディオ CD）
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable	CD-R、CD-RW ディスク ・ 下記のいずれかの表示のあるディスク。 FOR CONSUMER FOR CONSUMER USE FOR MUSIC USE ONLY ・ CD-R または CD-RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。 **ご注意** 一部の CD-R/CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD-TEXT ディスク アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。経過時間に加え、上記の情報（英数字と一部の記号のみ）が表示されます。

8センチ CDを再生するには

ディスクトレイの内側のくぼみに 8 センチ CD をセットしてください。また、8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。

ご注意

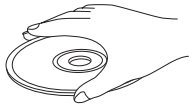
- 上記以外のディスク (変形ディスクも含みます。) はご使用にならないでください。
  上記以外のディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。



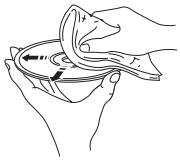
- テープやシールを貼ったディスクは使用しないでください。ディスクトレイの開閉不良や本機の故障の原因となる場合があります。

▮ ディスクの取り扱いについて

・ 記録面に傷をつけないよう、注意して取り扱ってください。ディスクを折り曲げないでください。



・ レコードスプレー、帯電防止剤、またはその他の化学薬品などで絶対にディスクを拭かないでください。
・ 記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。



・ レーベル面に文字を書くときは、先の軟らかいペンを使用してください。
・ ディスクを使用していないときは、本機からディスクを取り出し適切なケースに入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置かないでください。

ご注意

使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。誤動作の原因になるため市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

再生できるディスクとファイル形式

▮ DLNA/USB

フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数
WAV*1	8 ～ 192	16/24
MP3*2	8 ～ 48	16
WMA*3	8 ～ 48	16
AAC	8 ～ 48	16
FLAC	8 ～ 192	16/24
ALAC*4	44.1 ～ 48	16

*1 リニア PCM 形式のみ再生可能です。
*2 MP3 PRO には対応していません。
*3 WMA PRO と Lossless ファイルには対応していません。
*4 ALAC とは、Apple Lossless Audio Codec の略です。

・iPod で再生が可能なファイルフォーマットは、お使いの iPod によって異なります。
・マルチチャンネルで録音されたファイルには、対応していません。
・USB 機器はファイルの作成日時順に再生します。

▮ ディスク

フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数
MP3	8 ～ 48	16
WMA	16 ～ 48	16

ご注意

・MP3 または WMA ファイルは、ファイルをアルファベット順に再生します。
・本機では、著作権保護された WMA（DRM）ファイルは再生できません。
・本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。
・可変ビットレートのファイルを再生中は、経過時間が正確に表示されないことがあります。

主な仕様

入力端子 / 出力端子

・NETWORK
イーサネットインターフェース
..... 100Base-TX/10Base-T
DLNA バージョン 1.5

・ANALOG OUT ..... 2ch（L/R）

・DIGITAL OUT
光 ..... × 1
同軸 ..... × 1

・USB ..... × 1

オーディオ部

・出力レベル
1kHz、0dB、fs 44.1kHz..... 2.0 ± 0.3V

・S/N 比（IHF-A ネットワーク）
1kHz、0dB、fs 44.1kHz..... 110dB 以上

・ダイナミックレンジ
1kHz、0dB、fs 44.1kHz..... 100 dB 以上

・歪率
1kHz、0dB、fs 44.1kHz..... 0.003% 以下

・周波数特性
(CD)
fs 44.1kHz..... 2Hz ～ 20kHz、-3dB
(NETWORK)
fs 48kHz..... 2Hz ～ 24kHz、-3dB
fs 96kHz..... 2Hz ～ 48kHz、-3dB
fs 192 kHz..... 2Hz ～ 96kHz、-3dB

総合

・電源電圧..... AC100V、50/60Hz

・消費電力..... 28W

・ネットワークスタンバイ使用時の待機電力（参考値）
..... 3.5W

・ネットワークスタンバイ未使用時の待機電力（参考値）
..... 0.35W

・寸法（幅×高さ×奥行き）..... 435 × 96 × 313.3mm

・重量 5.25kg

* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。JIS C61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当あたりの入力電流が 20A 以下の機器」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

iPod、iPhone、iPad
「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone または iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって証明された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。本機を iPod、iPhone または iPad と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。
iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPodtouch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

Android™、アンドロイドは Google Inc. の商標または登録商標です。

Windows ™
Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Media Audio、Windows Media player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

DLNA はデジタルリビングネットワークアライアンスの米国およびその他の国における登録商標です。

Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG Layer 3 音声圧縮技術は Fraunhofer IIS および Thomson によってライセンス供与されています。

■ ソフトウェアに関する情報

本製品は以下の無償ソフトウェアを使用しています。
各ソフトウェアの詳細（著作権など）については、以下に示した原文をお読みください。

About The Independent JPEG Group's JPEG software

The Independent JPEG Group's JPEG software

Copyright © 1991-2010, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding.
All Rights Reserved except as specified below.

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

About PNG Reference Library

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.4.5, December 9, 2010, are Copyright © 2004, 2006-2010 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors
Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright © 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors
Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:
There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:
Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:
John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:
Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

About zlib Library

Copyright notice:

©1995-2010 Jean-loup Gailly and Mark Adler
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

About FLAC codec Library

Copyright ©2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007, 2008,2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
– Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
– Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
– Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

About lwIP Library

Copyright © 2001-2004 Swedish Institute of Computer Science.
All rights reserved.

Copyright © 2002-2003, Adam Dunkels.
All rights reserved.

Copyright © 2001-2004 Leon Woestenberg
<leon.woestenberg@gmx.net>
Copyright © 2001-2004 Axon Digital Design B.V., The Netherlands.
All rights reserved.

Copyright © 2007 Dominik Spies <kontakt@dspies.de>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of

conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright © 2002 CITEL Technologies Ltd.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of CITEL Technologies Ltd nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY CITEL TECHNOLOGIES AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CITEL TECHNOLOGIES OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Notice for Windows Media DRM

Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
Content owners use Windows Media digital rights management technology (WMDRM) to protect their intellectual property, including copyrights. This device uses WMDRM software to access WMDRM protected content. If the WMDRM software fails to protect the content, content owners may ask Microsoft to revoke the software’s ability to use WMDRM to play or copy protected content. Revocation does not affect unprotected content. When you download licenses for protected content, you agree that Microsoft may include a revocation list with the licenses. Content owners may require you to upgrade WMDRM to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

Do not disassemble, decompile, or reverse engineer the software included in Yamaha AV products.

About Apple Lossless Audio Codec

Copyright © 2011 Apple Inc. All rights reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「〜しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または大けがを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、「けがを負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

電源/電源コード


必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。


プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● **異常なにおいや音がする。** ● **煙が出る。**
● **内部に水や異物が混入した。** ● **異常に高温になる。**
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

電源コードを傷つけない。
● **重いものを上に載せない。**
● **ステープルで止めない。** ● **加工をしない。**
● **熱器具には近づけない。** ● **無理な力を加えない。**
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池


禁止

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。


禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。


禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止


分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置


水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- **浴室・台所・海岸・水辺**
- **加湿器を過度にきかせた部屋**
- **雨や雪、水がかかるところ**

水の混入により、火災や感電の原因になります。


禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- **布やテーブルクロスをかけない。**
- **じゅうたん・カーペットの上には設置しない。**
- **仰向けや横倒しには設置しない。**
- **通気性の悪い狭いところへは押し込まない。**

(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。


必ず実行

十分な耐荷重強度のある、水平で安定した場所に設置する。

傾斜面や、水平でないところ、カーペット、畳などの安定しない面や変形する面などに設置しないでください。

使用上の注意


必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。


禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

お手入れ


必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

注意

電源/電源コード


必ず実行

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因になります。


プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。


禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。


必ず実行

本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。

本体の⏻ボタンでパワーオフ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

電池


必ず実行

電池は極性表示(プラス＋とマイナスー)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。


禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。


必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置


禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。


禁止

あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となることがあります。


禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばや車内など)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。


禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。


必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。


必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。


注意

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動


プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意


手を挟まれないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。
閉めるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。


必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。


禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。


禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。


禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。


禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。


禁止

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。

禁止

業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

リモコン

禁止

水やお茶などの液体をこぼさない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。感電の原因になります。

禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

故障の原因になります。

禁止

下記のような場所に置かない。

- **風呂場の近くなど、湿度が高いところ**
- **暖房器具やストーブの近くなど、温度が高いところ。**
- **極端に寒いところ**
- **ほこりの多いところ**

火災や故障の原因になります。

お手入れ

必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

禁止

薬物厳禁

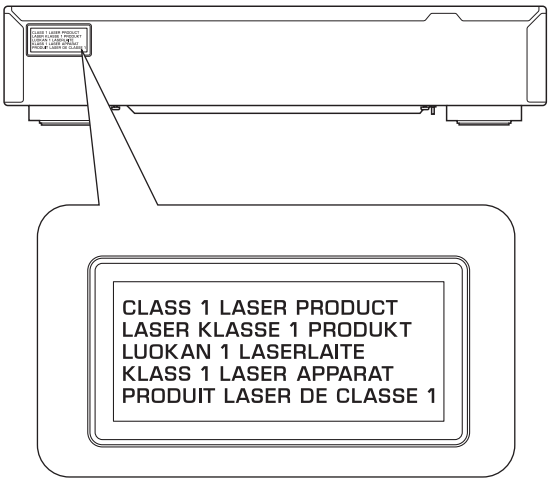
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

必ず実行

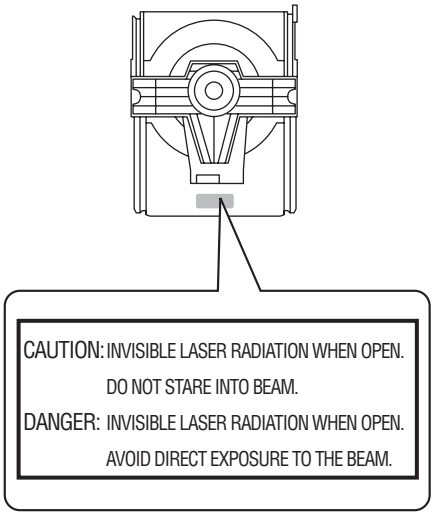
年に一度くらいは内部の掃除を販売店に相談する。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になることがあります。



ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



レーザー

タイプ.....半導体レーザー GaAs/GaAlAs
波長.....790nm
出力..... 10mW

お問い合わせの前にご確認ください

お問い合わせの際に、使用環境に関する下記の情報が必要になります。事前にご確認をお願いいたします。

対象	確認内容
本機（CD-N500）	ファームウェアのバージョン ※ 最新バージョンのファームウェアを使用してください（☞24 ページ）。問題を解決できる場合があります。
専用アプリケーション	アプリケーションのバージョン ※ 最新バージョンのアプリケーションを使用してください。 問題を解決できる場合があります。
ルーター	メーカー / モデル名（型番）
パソコン	・ メーカー / モデル名（型番） ・ OS バージョン ・ メディアサーバーの種類 （Windows Media Player など）
NAS	・ メーカー / モデル名（型番） ・ ファームウェアのバージョン （NAS に付属の設定アプリケーションなどで確認できます）
ネットワーク全体	・ 本機と同じネットワークに接続している機器の種類 ・ 各機器の接続方法（有線 / 無線など） ・ モバイル端末のメーカー / モデル名（型番）、OS バージョン
音声ファイル	・ 音声フォーマット（WAV、FLAC など） ・ サンプリング周波数 / 量子化ビット数（例：44.1kHz/16bit） ・ ファイルの入手元（CD リッピングまたはダウンロードサイト名）

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 9:00～17:45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1



ヤマハ株式会社

© 2012 Yamaha Corporation

Printed in Malaysia　ZE54100-1